

作成日: 2000年10月11日

改訂日(V.10): 2023年8月23日

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: 日農クサレス顆粒水和剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名: 日本農薬株式会社

住所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目19番8号 京橋OMビル

担当部門: 環境安全・品質保証部

TEL. 050-3490-3494

e-mail: kankyuanzen@nichino.co.jp

緊急連絡電話番号:(平日) 050-3490-3494 (環境安全・品質保証部)

(休日、夜間) 04-2929-8961 (ALSOK)

推奨用途及び使用上の制限: 芝、非農耕地用除草剤、農薬登録の範囲外の使用は不可

SDS番号: 508-30(M427)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

健康有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系、免疫系、 腎臓)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分2

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

### GHSラベル要素

#### 絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	眼刺激 遺伝性疾患のおそれの疑い 発がんのおそれ 長期にわたる又は、反復ばく露による臓器(呼吸器系、免疫系、 腎臓)の障害 水生生物に毒性

#### 注意書き

##### 【安全対策】

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
- 粉じん、ミスト及びスプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- 必要なとき以外は、環境への放出を避けること。

## 【応急措置】

- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診察を受けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察を受けること。
- 気分が悪いときは、医師の診察を受けること。

## 【保管】

- 施錠して保管すること。

## 【廃棄】

- 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：2 - ( $\alpha$  - ナフトキシ) - N, N - ジエチルプロピオンアミド  
(一般名 ナプロパミド)

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
ナプロパミド	51%	15299-99-7	5-359	(9)-2333
〈その他〉				
結晶質シリカ(石英)	>0.37%	14808-60-7	既存物質	(1)-548
鋳物質微粉、界面活性剤等	49%			

## 4. 応急措置

吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。気分が悪いときは、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：

情報なし

応急処置をする者の保護：

ばく露による二次災害の防止のため、『8. ばく露防止及び保護措置』の保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項：

情報なし

## 5. 火災時の措置

消火剤：粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、乾燥砂類など

使ってはならない消火剤：直接の棒状注水(飛散及び火災の延焼を避けるため)

特有の危険有害性：火災時には、刺激性で有害なガスを放出する可能性があるため、消火作業時には煙を吸入しないように注意する。

特有の消火方法：火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、風上から行い、煙を吸入しないように注意する。火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。危険でなければ火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護：消火作業の際には、呼吸器用保護具、保護帽、保護メガネ、保護手袋、耐火性防護服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

保護具及び緊急措置:

風下の人を避難させ、風上より作業する。密閉された場所に立ち入る前に換気する。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。漏出物の処理を行う際には、適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用する。

環境に対する注意事項:

漏出物や汚染洗浄水が河川等に流入しないように堰き止め、環境中に放出させない。

封じ込め及び浄化方法・機材:

漏出物を掃き集めて、密閉できる容器等に回収する。粉じん用集じん機などで吸い取るなど、粉じんが飛散しない方法で取り除く。

二次災害の防止策:

全ての着火源（熱、火花、裸火、高温、静電気放電等）を取除く。排水溝、下水溝、地下室及び閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

局所排気、全体換気を行う。（『8. ばく露防止及び保護措置』を参照）

安全取扱注意事項:

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。必要なとき以外は、環境への放出を避けること。

接触回避:

情報なし

衛生対策:

この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後は、手をよく洗うこと。

保管

保管条件:

容器に密閉して換気の良い場所で保管すること。施錠して保管すること。

混触危険物質:

情報なし

容器包装材料:

クラフト袋

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:

局所排気装置の設置、設備の密閉化、又は全体換気を適正に行う。取扱い作業場の近くに手洗い・洗眼設備、安全シャワー等を設置すること。

管理濃度:

結晶質シリカ:  $E=3.0 / (1.19Q+1)$

E: 管理濃度 (mg/m<sup>3</sup>)

Q: 当該粉じん遊離けい酸含有率 (%)

許容濃度:

日本産業衛生学会 結晶質シリカ: 0.03 mg/m<sup>3</sup>

ACGIH 吸入性結晶質シリカ: TLV-TWA: 0.025 mg/m<sup>3</sup>

保護具

呼吸器の保護具:

農業用マスク

手の保護具:

保護手袋

眼の保護具:

保護メガネ

皮膚及び身体の保護具:

保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态:

顆粒

色:

淡褐色

臭い:

芳香臭

融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	該当しない
引火点：	該当しない
自然発火点：	該当しない
分解温度：	データなし
pH：	7-9(10%水懸濁液)
動粘性度：	該当しない
溶解度：	水に懸濁
n-オクタノール／水分配係数：	該当しない
蒸気圧：	該当しない
密度及び／又は相対密度：	データなし
相対ガス密度：	該当しない
粒子特性：	情報なし
かさ密度：	0.6

## 10. 安定性及び反応性

反応性：	通常状態で安定である。
化学的安定性：	酸化剤と反応する。
危険有害反応の可能性：	通常の保管・取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件：	高温、静電気、火気などの着火源
混触危険物質：	酸化剤との共存を避ける。
危険有害性のある分解生成物：	通常の保管・取扱い条件下では危険有害な分解生成物はない。 なお、燃焼すると刺激性で有毒なガスを生成する可能性がある。

## 11. 有害性情報

急性毒性 経口：	(1) 及び (2) により、区分に該当しない。 根拠データ (1) ラット LD <sub>50</sub> 値 雌雄 >5,000 mg/kg (2) マウス LD <sub>50</sub> 値 雌雄 >5,000 mg/kg
経皮：	(1) により、区分に該当しない。 根拠データ (1) ラット LD <sub>50</sub> 値 >2,000 mg/kg
吸入：	データがないため、分類できない。
皮膚腐食性／刺激性：	(1) により、区分に該当しない。 根拠データ (1) ウサギにおける皮膚刺激性試験において、投与 1、2 及び 3 日後の紅斑／痂皮の平均が 0.5 であった。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	(1) により、区分 2B とした。 根拠データ (1) ウサギにおける眼刺激性試験において、投与 1、2 及び 3 日後の結膜発赤の平均が 2 の動物がいたが、7 日後には完全に回復した。
呼吸器感作性：	データがないため、分類できない。

皮膚感作性：	(1) により、区分に該当しない。 根拠データ
生殖細胞変異原性：	(1) モルモットにおける皮膚感作性試験では陰性であった。 製品：(1) により、区分 2 とした。 根拠データ
発がん性：	(1) 結晶質-シリカ 区分 2 製品：(1) により、区分 1 とした。 根拠データ
生殖毒性：	(1) 結晶質-シリカ 区分 1 製品：データ不足のため、分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	製品：データ不足のため、分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	製品：(1) により、区分 1（呼吸器、免疫系、腎臓）とした。 根拠データ
誤えん有害性：	(1) 結晶質-シリカ 区分 1（呼吸器、免疫系、腎臓） データがないため、分類できない。

## 1 2. 環境影響情報

### 生態毒性

#### 水生環境有害性 短期（急性）：

(1) ~ (3) により、区分 2 とした。

根拠データ

(1) コイ（96 時間） LC<sub>50</sub> 26.0 mg/L

(2) オオミジンコ（48 時間） EC<sub>50</sub> 20.7 mg/L

(3) 藻類（緑藻）（72 時間） EbC<sub>50</sub> 1.94 mg/L

#### 長期（慢性）：

データ不足のため、分類できない。

残留性／分解性：

情報なし

生態蓄積性：

情報なし

土壌の移動性：

情報なし

オゾン層有害性：

オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書の附属書に列記された規制物質を含まない。

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託するなど適切に廃棄する。

汚染容器及び包装：

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。関連法規及び地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

## 1 4. 輸送上の注意

### 国際規制

国連分類：該当しない

国連番号：該当しない

### 国内規制

『1 5. 適用法令』の項を参照の上、規定の積載方法、容器等によって輸送する。

特別安全対策：

輸送に際しては、包装あるいは容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

## 15. 適用法令

農薬取締法

毒物及び劇物取締法：毒物及び劇物に該当せず。

労働安全衛生法

表示対象物(法 57 条、施行令第 18 条)：結晶質シリカ(政令番号 165 の 2)

通知対象物(法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2)：結晶質シリカ(政令番号 165 の 2)

化学物質排出把握管理促進法（化管法）

指定化学物質：該当せず。

## 16. その他の情報

参考資料：安全データシート「クサレス顆粒水和剤」(ユーピーエルジャパン合同会社 2022 年 7 月 25 日改訂)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。